



プレス各位

16.09.2026

ゲーテ・インスティトゥート東京
プレスリリース

特集上映 ドイツ・クィア映画の先駆者 ローザ・ フォン・ブラウンハイムのレガシーを東京へ

東京 | 2026年9月16日

ゲーテ・インスティトゥート東京は、2026年10月9日(金)・10日(土)の2日間にわたり、ドイツ・クィア映画の先駆者であり、国際的なLGBTQ+運動を牽引した映画作家、ローザ・フォン・ブラウンハイム（1942-2025）に焦点を当てた特別上映を開催します。2025年に逝去した同氏への追悼企画として実施される本特集では、挑発的かつ妥協を許さない表現と鋭い社会批評によって、映画史のみならず社会的言説にも大きな影響を与えたその功績を紹介します。

本特集では、劇映画、ドキュメンタリー、キャンプ、政治的映画表現など、多彩な作品を通してローザ・フォン・ブラウンハイムの創作活動を紹介します。映画の枠を超え、社会運動や文化表現にも大きな影響を与えた映画作家の作品に触れる貴重な機会です。上映作品のうち『歪んでいるのは同性愛者ではなく、彼らが生きる社会のほうだ』（Nicht der Homosexuelle ist pervers, sondern die Situation in der er lebt）（1971）および『ソーセージ枕』（Die Bettwurst）（1971）は、**日本語字幕付きで初上映**となります。また、ベルリンの伝説的パフォーマー、アニタ・ベルバーを描いた『アニタ 背徳のダンサー』（Anita - Tänze des Lasters）も上映。本作は1980年代にユーロスペースで上映されて以来のスクリーン上映となり、今回は同館のアーカイブで発見され、本特集のために特別貸与された**35mmフィルムプリント**によって上映されます。往年の観客と同じ上映形式で作品を体験できる貴重な機会です。

クィア映画史を切り拓いた重要人物

ローザ・フォン・ブラウンハイムは、ドイツのクィア映画史を語るうえで欠かすことのできない映画作家の一人です。代表作『歪んでいるのは同性愛者ではなく、彼らが生きる社会のほうだ』（1971）は、ドイツにおける現代のゲイ解放運動の重要な契機となり、映画が可視化と社会変革のための強力なメディアとなり得ることを示しました。アンダーグラウンド・カルチャー、アート、アクティビズムを横断しながら活動したブラウンハイムは、**既存の映画表現にと**

Goethe-Institut Tokyo

〒107-0052

東京都港区赤坂 7-5-56

Sandra Wohlauf
PR Officer

Tel: 03-3584-3201 (代表)
Fax: +81-3-3586-3069
Presse-tokyo@goethe.de
www.goethe.de/japan

www.goethe.de

**GOETHE
INSTITUT**

Sprache. Kultur. Deutschland.

らわれない低予算かつ実験的な作品群を通して、ドイツにおける豊かなクィア映画文化の形成に大きく貢献しました。その革新的な表現と先駆的な実践は、今日に至るまで世界中の映画作家やアーティストに影響を与え続けています。

ローザ・フォン・ブラウンハイムの功績を読み解く関連プログラム

上映にあわせて実施される関連プログラムでは、ローザ・フォン・ブラウンハイムの作品とその歴史的意義をより深く考察する機会を提供します。映画・文化ジャーナリストのヤン・キューネムントによるオンラインレクチャーでは、『歪んでいるのは同性愛者ではなく、彼らが生きる社会のほうだ』を中心に、その制作背景や今日まで続く影響について解説します。また、映画研究者の渋谷哲也氏が各上映作品の解説を担当し、歴史的・文化的背景を紹介します。これらの関連プログラムを通じて、観客はブラウンハイムの独創的な映画表現への理解を深めるとともに、映画・アクティビズム・公共社会の関係を再定義した文化的実践者としての功績を多角的に捉えることができます。

ローザ・フォン・ブラウンハイムについて

ローザ・フォン・ブラウンハイム（本名：ホルガー・ミシュヴィツキー、1942–2025）は、ドイツの映画監督、作家、アーティストであり、ドイツ語圏におけるLGBTQ+の権利運動を代表する活動家の一人です。彼の芸名は、ナチ時代に強制収容所で同性愛者を識別するために用いられた「ピンク・トライアングル（Rosa Winkel）」に由来しています。50年以上にわたるキャリアの中で150本を超える作品を手がけ、ニュー・ジャーマン・シネマとクィア・カルチャーの発展を牽引する存在として国際的に高く評価されました。作品を通して、クィアの可視化、AIDSアクティビズム、歴史的抑圧、ジェンダー規範、老いといった社会的テーマに果敢に取り組み、常に鋭い視点で時代に問いを投げかけ続けました。挑発的でありながら深い人間理解に根ざしたその創作活動は、映画表現と社会運動の双方に大きな影響を与えました。今日に至るまで、その芸術的・政治的功績はドイツ・クィア映画史において比類ない存在として位置づけられています。

写真素材ダウンロードは

[こちら](#)

プレスお問合せ

ゲーテ・インスティテュート東京 広報担当

サンドラ・ヴォーラウフ

presse-tokyo@goethe.de

電話：03-3584-3201

プログラム

ローザ・フォン・ブラウンハイム特集

ドイツ・クィア映画の先駆者

会期 2026 年 10 月 9 日（金）・10 日（土）

会場 〒107-0052 東京都港区赤坂 7-5-56 1 階 ホール

オンラインレクチャー 「創造性と抵抗の精神」

講師：ヤン・キューネムント

2026 年 10 月 9 日（金）18:00～

上映プログラム

- 2026 年 10 月 9 日（金）
19:00 『歪んでいるのは同性愛者ではなく、彼らが生きる社会のほうだ』 (1971) *
- 2026 年 10 月 10 日（土）
14:00 『ソーセージ枕』 (1971) *
16:00 『アンダーグラウンド・イン・N.Y.』 (1976) *
18:00 『アニタ 背徳のダンサー』 (1987) *

*各上映前に映画研究者・渋谷哲也氏による作品解説あり

イベントページ: <https://www.goethe.de/ins/jp/en/kul/eui/filmspezial-rvp.html>

チケット: <https://rosavonpraunheim.peatix.com/>

上映映画



@missingFILMs GmbH

『歪んでいるのは同性愛者ではなく、彼らが生きる社会のほうだ』 西ドイツ、1971年、67分、カラー、R-16指定、ドイツ語（日本語字幕付）

失恋を経験したダニエルは、ベルリンのゲイ・サブカルチャーの世界へと足を踏み入れ、クィアな生き方やコミュニティの多様なあり方に出会っていく。フィクション、ドキュメンタリー映像、そして鋭い社会批評を融合させた本作は、ドイツ・クィア映画史における最も重要な作品の一つとされ、ドイツにおけるLGBTQ+解放運動の大きな契機となった。

監督：ローザ・フォン・ブラウンハイム

出演: ベルント・フォイアーヘルム、ベリト・ボーレン、エルンスト・クフリング他



@missingFILMs GmbH

『ソーセージ枕』西ドイツ、1971年、81分、カラー、R-16 指定、ドイツ語（日本語字幕付）

会社員のルツィと若い工場労働者ディートマーは、家庭を築くという夢を胸に、穏やかな日々を送っている。しかし、ディートマーのかつての犯罪仲間たちが再び現れたことで、そのささやかな幸福は脅かされていく。ローザ・フォン・ブラウンハイムの代表作の一つである本作は、ドイツ映画における**キャンプ美学の初期かつ極めて独創的な実践例**として高く評価されている。ユーモアや誇張、パロディを巧みに用いながら、社会規範や既成概念に鋭く切り込むカルト的名作である。

監督：ローザ・フォン・ブラウンハイム

出演：ルツィ・クリン、ディートマー・クラフト、
スティーブン・アダチェムスキー他



@missingFILMs GmbH

『アンダーグラウンド・イン・N.Y.』西ドイツ、1976年、89分、カラー、ドイツ語・英語（日本語字幕付）

このドキュメンタリーでローザ・フォン・ブラウンハイムは、ニューヨークの活気あふれるアンダーグラウンド・シーンを訪れ、アンディ・ウォーホル、ウィリアム・S・バロウズ、ロバート・ウィルソンらのアーティストたちと出会う。都市の前衛芸術シーンを映し出すポートレートと、ドイツ語圏からの亡命者たちの物語を織り交ぜながら、本作は創造性、移住、そして文化的自由について考察する。

監督：ローザ・フォン・ブラウンハイム

協力：UNDERGROUND CINEMA FILM FESTIVAL



@missingFILMs GmbH

『アニタ 背徳のダンサー』西ドイツ 1987年、87分、カラー、R16指定、ドイツ語（日本語字幕付）

1920年代のベルリンを舞台にした『**アニタ／背徳のダンス**』は、ワイマール共和国時代の芸術的・性的自由を象徴する伝説的ダンサー、アニタ・ベルバーにオマージュを捧げる作品である。自らをベルバーの生まれ変わりだと信じる精神病院の女性患者の幻想を軸に物語が展開し、鮮烈な映像美と表現主義に着想を得たスペクタクルを融合させながら、その波乱に満ちた人生を描き出す。

監督：ローザ・フォン・ブラウンハイム

出演：ロッチェ・フーバー、イーナ・ブルーム、ミカエル・オネソー、
ローザ・フォン・ブラウンハイム他
協力：ユーロスペース



ゲーテ・インスティトゥートは、グローバルに活動するドイツ連邦共和国の文化機関です。海外におけるドイツ語教育の推進、国際的な文化協力の振興、ドイツの総合的なイメージの発信に努めています。70年にわたりドイツ語とドイツ文化へのアクセスを提供し、所在国の市民社会とのパートナーシップを通じた対話の実現に尽力することで、ドイツに対する持続的な信頼を築いています。ゲーテ・インスティトゥートは連邦外務省の制度的な支援を受けつつ、いかなる政党にも属さずに法的にも独立しています。自らの責任において活動し、予算の約3分の1を語学講座や検定試験の収益でまかなっています。現在100カ国に154カ所の拠点を持ち、ドイツにはそのうち12カ所のゲーテ・インスティトゥートがあります。

HP: <https://www.goethe.de/ins/jp/en/index.html>

Instagram: <https://www.instagram.com/goethe.institut.tokyo/>

Facebook: <https://www.facebook.com/goethe.institut.tokyo/>